

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）実現のために  
**[メリハリのある働き方の実現]**

**時間に対する価値観を変革し、  
より質の高い人生とサービスの実現を目指す**

CASE 5

全日本空輸株式会社



全日本空輸株式会社  
 勤労部 主席部員

渡辺 徹 氏

—御社が進める「時間に対する価値観を変革し、効率的で質の高い業務プロセスに転換するための取り組み」とは、どのようなことなのでしょう。

**渡辺** ● 主に4つの取り組みを行っています。1つは「マネジメント体制の強化」です。個人の業務内容や目標を、社内で共有するスケジュール表に記入し、業務を見える化しています。その上で、上司がアドバイスをしたり、業務を割り振ったりして、仕事の無駄や偏りの解消を図っています。

次に「会議改革」です。会議の目的の明確化や十分な事前準備を促すほか、議案書などのテンプレート化やファシリテーション能力の向上を目指す研修を行い、会議を効率化しています。

また、終業時刻間際に不急の依頼メールを送信しないなど、自分だけでなく相手の業務効率も尊重する「ワークルールの徹底」も行っていきます。

—4つ目が「ノー残業デー」ですね。

**渡辺** ● 本社では毎週水曜日の19時に一斉消灯を行っています。実施を徹底するため、再点灯を行う場合は事前申請を義務づけています。

—ワーク・ライフ・バランス(WLB)の推進に当たり工夫していることは？

**渡辺** ● 細かな点については各事業所で話し合っ決めてるようにしています。自分たちで必要性を感じて決めたルールのほうが浸透しやすいですからね。

—WLBは企業や社員にとって、どのようなメリットがあると思いますか。

**渡辺** ● 今後、企業が生き残っていくためには、時間の質にこだわり、高い成果を効率的に生み出せるようになる



全日本空輸株式会社  
 代表取締役社長

伊東 信一郎 氏

全日本空輸(ANA)が目指すWLBとは

「ワーク」も「ライフ」も  
 あんしん、あったか、  
 あかるく元気!

ことが不可欠だと思います。時間の質を高めることは、人生の質を高めることでもあります。業務プロセスの改善によって、社員は仕事における自己成長を実感できますし、効率的に仕事を終え、空いた時間で生活の充実を図ることもできるでしょう。

—今後、目指していることは？

**渡辺** ● WLBの取り組みを通じて、社員の人生の質、仕事の質の向上を図り、「あんしん、あったか、あかるく元気!」という、当社が目指す“ANAらしさ”を実現していきたいですね。

## WLB支援に取り組む 10社の事例を連載中!

※( )内は掲載(予定)号

### 【休暇の取得促進】

株式会社電通 (10/5号)  
 鹿島建設株式会社 (10/12号)

### 【メリハリのある働き方の実現】

株式会社日立製作所 (10/19号)  
 株式会社大和証券グループ本社 (10/26号)  
**全日本空輸株式会社** (今回掲載)  
 キヤノン株式会社 (11/9号)

### 【仕事と育児・介護の両立支援】

三井化学株式会社 (11/16号)  
 日産自動車株式会社 (11/23号)  
 株式会社高島屋 (11/30号)  
 住友商事株式会社 (12/7号)

今回の  
ポイント

**細かな取り組みは事業所でルール設定し  
業務プロセスを改善**

いい仕事しよう。いい人生しよう。

仕事と生活の調和 講演会開催  
 (ワーク・ライフ・バランス)

司会  
 久保 純子

12月7日(月) 東京  
 明治安田生命 MY PLAZAホール

12月9日(水) 大阪  
 大阪府立男女共同参画・青少年センター

詳しくは、HPまたは「仕事と生活の調和講演会」事務局まで お申し込み: <http://www.face2.jp/wlb/>  
 TEL: 03-3545-2372(10:00~18:00 土・日・祝日を除く)

講演会のお申し込み先のウェブサイトにつきましては、株式会社フェイス・ツー・コミュニケーションが運営しております。  
 当サイトは、12月9日まで有効となっております。

仕事と生活の調和推進プロジェクト

検索



ひと、暮らし、みらいのために

厚生労働省

<http://www.mhlw.go.jp/>